

北海道作業療法士会 自助具コンテスト 応募作品の概要

\*A4 用紙3枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

作品の名称	ピンポンでるホン
対象者の領域	※該当する項目( )に○を入れる。 身体障害 (○)、精神障害 ( ), 発達障害 ( ), 高齢者 (○)、 その他 ( 握力が弱い方、手指の巧緻動作が低下している方)
自助具の分類	※該当する項目( )に○を入れる。 食事動作 ( ), 整容動作 ( ), 更衣動作 ( ), 排泄動作 ( ), 入浴動作 ( ), コミュニケーション ( ), 趣味・余暇活動 ( ) その他 (○)
用具の種類	※該当する項目( )に○を入れる。 工夫・改良品 (○)、個別製作品 ( ) ※ <span style="border: 1px solid black;">工夫・改良品</span> 市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、 <span style="border: 1px solid black;">個別製作品</span> アイデアから個別に製作したオリジナルな物とする
応募作品の概要	※作品の目的や効果、特徴、新規性・独創性（オリジナリティー）などを簡潔に記載する。 <b>【作品の経緯】</b> ・進行性の疾患であり、握力、ピンチ力の低下が見られ、物を掴むことが徐々に難しくなっていた。ADL 全般で介助が必要な状態となり、介護サービスの量が増えてきていた。インターホンにでる事が出来ないことが増えていき、介護サービスが介入できない日もあった。同居者は日中仕事であり、在宅で今後も介護サービスを利用するためにはインターホンに出て、開錠する必要があった。介護サービスが利用できなければ、施設入所も検討していた。ご本人は在宅での生活を強く希望され、今回の作品を作成した。 <b>【特徴】</b> ・安価であり、短時間で作成できる。（インターホンのリフォームには費用がかかる。集合住宅などはリフォームできない場合がある。） ・左右の手、掌側、背側でもでる事が可能。 ・少しであるが高さの調整ができる。 <b>【効果】</b> ・自分でインターホンにでることができ、介護サービスを受ける事が可能となる。在宅での生活を維持する事ができ、本人の満足感や家族と過ごす時間を継続する事ができた。 ・介護サービスでの鍵の管理が不要になる。（鍵の管理方法や紛失を防止できる） →ご本人やご家族のプライバシー保護につながる。
工夫したポイント	・見た目や重さを軽量化するために、スリッパを半分に切ったこと。 ・手の大きさ、指に引っ掛かりやすい形の選定。 ・施錠ボタンにコードフックを付け、押しやすくした点。（ご家族の考案）
利用上の留意点	※使用上の注意点、耐久性、衛生面といった留意点を記載する。 ・使用期間が長くなると、ベルクロテープの粘着力が少なくなる為、定期的な交換が必要。

作  
製  
の  
準  
備

※使用材質、道具、工具、材料費、などを記載する。

材料：スリッパ 110円  
ベルクロテープ 110円  
コードフック 110円 →わりばし、段ボール、凸シールなどで代用可能。

道具：ハサミ、マスキングテープ、両面テープ

※作品の外観、作り方・製作過程、活用場面について写真と説明文を用いて記載する。

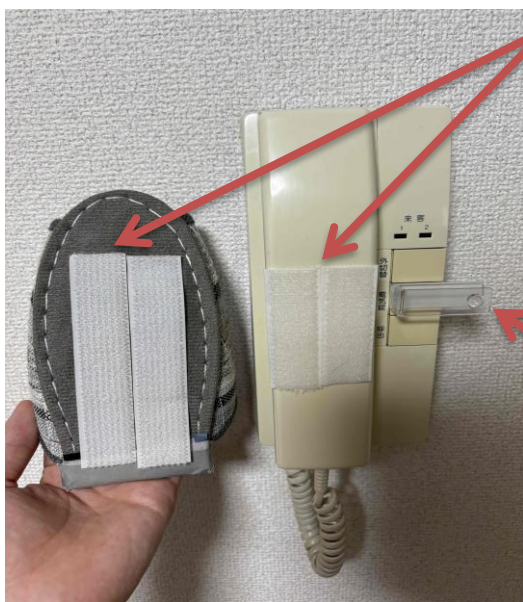
※画像は最大10枚とし、自働具の特徴や使用状況が分かるような写真を使用する。

### 1. 作品の外観



応  
募  
作  
品  
の  
特  
徴

### 2. 作り方・製作過程



インターホンとスリッパに両面テープを貼る。  
両面テープにベルクロテープを貼る。

コードフックに付いていた両面テープを外し、開錠ボタンに貼る。

### 3. 活用場面



インターホンに手を伸ばし、スリッパの中に手を入れ、指や手に引っかけることでインターホンに出ることができる。

インターホンを戻し、コードフック（開錠ボタン）を押し、鍵を開錠できる。

応募  
作品  
の特  
徴

<写真の使用に関して> ※該当する項目( )に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている ( )、対象者に同意を得ていない ( )、該当せず (○)

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。